

## ソノケミストリー討論会講演論文集テンプレート(明朝 12pt)

気泡大院工 ○気泡 太郎, 園家 美緒 (所属, 氏名 明朝 10pt)

### <緒言>

マージンは上下左右各 25mm です。講演論文原稿は英文 Abstract を含んで **A4 サイズ・2 ページ**でお書きください。日本語フォントは明朝, 英文フォントは Times New Roman です。このファイルは Microsoft Word 用の Template です。他のソフトをご使用の際は, レイアウトをご参考の上, 作成ください。

講演題目は 1~2 行目に明朝 12pt で書いてください。演題が短い場合には 2 行目は空行にしてください。演題の左にはマージンから 15mm 以上の空白をとってください。所属、氏名は 3~4 行目に明朝 10pt で書いてください。本文は 5 行目から明朝 10pt で書いてください。

英文 Abstract : 1 ページ目の 1/3 のスペース分に書いてください。タイトルは 1~2 行目に書いてください。タイトルが短い場合には 2 行目は空行にしてください。氏名は 3 行目に、所属は 4~5 行目に書いてください。連絡者の住所、電話、Fax、E-mail は 6,7 行目に書いてください。Keyword は 8 行目に、3 から 5 個を目処に書いてください。Abstract 本文は 9 行目から書いてください。

このテンプレートでは, 改行幅は一行とし, 「1 ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる。」のオプションを外しています。他の設定を用いる場合も改行幅がテンプレートからそれほど変化しないようにしてください。

原稿は pdf 形式に変換してください。また, pdf サイズは 2MB 以下とします。画像がある場合は, 解像度に注意してください。pdf 変換後のレイアウトをご確認ください。

### <実験>

#### <結果と考察>

図や表の説明は英文で書いてください。図表中の説明なども英文で書いてください。図表中の文字の大きさも小さくなりすぎないように注意してください。

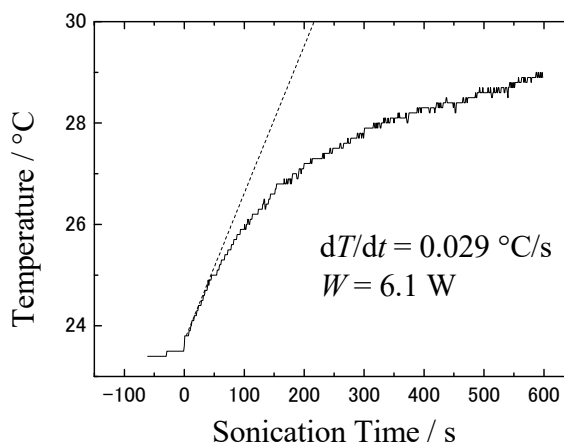


Fig.1 Sonication time dependence of temperature in water

## Template for annual meeting of Japanese Society of Sonochemistry

Taro Kiho<sup>1</sup>, Mio Sonoche<sup>1</sup>

(1; Department of Engineering, Graduate School of Engineering, Kiho University)

Kiho-cho, Kiho-ku, 464-8603, Japan, Tel: +81-52-789-xxxx, Fax: +81-52-789-xxxx, kiho@i-sonochem.org

**Keywords:** keywords 1/ keyword 2/ keyword 3/keyword 4

**Abstract:** This is a template file of English abstract for Microsoft Word. An English abstract consists of a title, names of authors, affiliation, address, telephone and fax numbers, an E-mail address, keywords and body of the abstract.

Title should be written in 1st and 2nd lines. Names of authors should be written in the 3rd line. Affiliation should be written in the 4<sup>th</sup>-5<sup>th</sup> lines. Address, phone and Fax numbers, and an E-mail of corresponding author should be placed in the 6<sup>th</sup>-7<sup>th</sup> lines. Keywords should be written in the 8<sup>th</sup> line. Three to five keywords should be listed. Body of the abstract should be written from the 9<sup>th</sup>-19<sup>th</sup> lines.

etc etc etc

etc etc

etc

(2 ページ目の本文)

Table 1. An example of Table.

Ex.1	Ex.2	Ex.3
1.0	2.0	3.0
2.0	3.0	4.0
3.0	4.0	5.0
4.0	5.0	6.0
5.0	6.0	7.0

<謝辞>本研究の一部は文部科学省の x x x x プログラム「x x ソノプロセッシングの創成」の援助を受けました。

#### References

- 1) ×山 ○三, ○川 ○男, 化学○○, **37**, 47 (2017).
- 2) S. Batsuyama, *Ultrasoxxxxxx*, **128**, 1024 (2022).
- 3) S. Marukawa, , *Naxxxx*, **577**, 389 (2019).